

新入部員募集 開成6組野球部 傷害保険加入交渉中
 TEL03-3838-4788木村まで 委細面談 秘蔵守 敷金3礼金1
 練習屋年1回、夜多数 写真履歴書不要 駐Sなしバット相談
 歯ごたえの 戦相手求む 女子歓迎住込可 子息開成入学に有利



疑惑に終止符

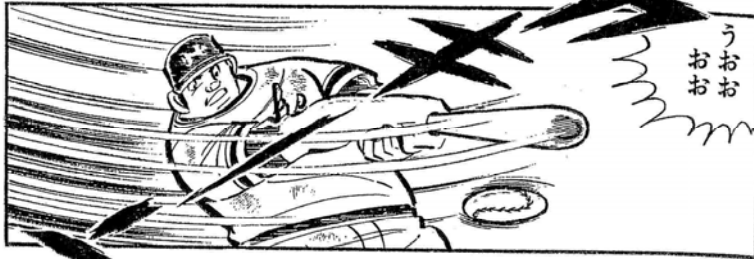
6組 連合軍に快勝

檜垣三塁打含む2安打 篠田完投・決勝2ラン

市川炎上、須川轟沈

平成10年10月11日 13時
 城北中央公園 観衆3万

勝利投手 篠田12勝1敗
 敗戦投手 須川1敗
 6連合軍 10021
 0120×0—52



ライト線に三塁打を放った檜垣

10月11日6組は城北中央公園野球場で連合軍と対戦し、檜垣等の巧打と篠田の好投で連合軍に快勝、対連合軍3連勝を遂げた(連合軍側見解2勝1敗)。初回6組は制球の定まらぬ市川から石垣、高水、佐藤、檜垣が四球を選び押し出で先取点を挙げた。一方連合軍は1、2回篠田に抑えられながら、三回先頭荒井の何でもない飛球を一塁檜垣が落とし出塁、一死後野野の三塁ゴロの間に二進、須川がレフト横山の頭上をワンバウンドで越える三塁打で同点に追いついた。しかし6組は同点にされたすぐ裏、四球で出た佐藤を置いて篠田が代った須川の直球をレフトスタンドに高々と打ち返し勝越し。四回連合軍は先頭の中がセンター前にボテンヒットを放ち出塁、内野ゴロ等で三塁に進み、斉藤の三塁ゴロで中島が逡巡し一塁に低投する間に1点を返した。1点差を守る6組は、5回先頭の檜垣が持ち前の流し打ちで右中間を破る三塁打を放ち無死三塁から、神原の三塁ゴロを西宮が一塁に悪送球する間に檜垣が生還し4点目。この送球をファースト中に後逸しライト線に転々する間に神原が二進、木村の三塁ゴロで三進



中島のレフトフライをはじく草野左翼手

し、二死から中島の浅いレフトフライを草野がはじく間に駄目押し5点目を挙げた。この後は3点のリードで楽になった篠田が5回、6回を無難に投げ切り、最後は中島のファイナンプレーで締めくくり連合軍を下した。初戦、二戦とラゲビーまがいの乱打戦となったが、この日は両軍4安打づつの野球らしい展開、互いに野球に慣れてきた感じであったが、6個の四球と4つのエラーが連合軍の命取りとなった。この試合6組は主力の木鋪、横井を欠きサードに中島、ファ



本塁打を打たれ思わず目を覆う須川投手

1ストに檜垣を配し物量を誇る連合軍を相手に万全の体制ではなかったが、守備では中島、打っては守りから開放された檜垣が2安打を含む全打席出塁と活躍したが、石垣を中堅にコンバートして外野を固める新布陣への課題はすべて解決というまでには至っていない。

[6組]	打	安	点	球	振	[連合軍]	打	安	点	球	振	
1 (中)	石垣	3	1	0	1	0	1 (右)	荒井	3	0	0	0
2 (遊左)	横山	3	0	0	0	1	2 (中)	斉藤	3	0	0	0
3 (三遊)	高水	2	0	0	1	0	3 (左)	草野	3	0	0	0
4 (捕)	佐藤	1	0	0	2	0	4 (遊投)	須川	3	1	1	0
5 (投)	篠田	3	1	2	0	1	5 (三)	西宮	2	0	0	1
6 (一)	檜垣	2	2	1	1	0	6 (二)	鈴木	3	1	0	0
7 (二)	神原	3	0	0	0	0	7 (一)	中	3	2	0	0
8 (右)	木村	2	0	0	1	0	8 (捕)	日野間	3	0	0	0
9 (左)	後藤	1	0	0	0	1	9 (投遊)	市川	3	0	0	0
	三	2	0	0	0	0						

22 4 3 6 3 26 4 1 1 6

本塁打: 篠田1号 三塁打: 檜垣 二塁打: 須川
 失策: 檜垣2、中島、草野、須川、中、鈴木



6奪三振完投の篠田

論壇 水島新司

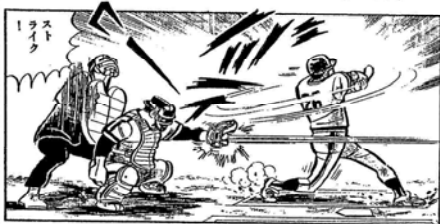
開成37年6組野球クラブは10月11日城北中央公園野球場に於いて他組連合軍と対戦・勝利し、去る6月不明な結果で終わつた前戦への決勝をつけた。前戦連合軍は6組9名の戦力に比べ、総勢二百五十名という圧倒的な物量の中から選ばれた精鋭を送り込みながら、或いは捻挫、或いはとるに足らないかすり傷を理由に、ただ員数合せに過ぎない鳥合の衆をベンチに置き、恥ずかしげもなく6組に助力を懇願し主力選手を借り受けた上、これにも飽きたらず判定を自らの有利に覆す卑屈な手段を用いてまで今後二度と得る見込のない勝利を手に入れようとした。しかしかもあるのか、ただ何がしかの米を手にせんとする目的のみのためにこの結果を怪しげな情報誌に売込み、またその尊厳を冒すべからざる母校の校友誌に、多くの事実を隠匿し、自らに都合のよい内容を粉飾する形で投稿を行なった。

6組は第一行での大勝にあまりにも力の相違があることを知り、弱小たりとは言え、いやしくも同窓の誼み、彼等の名譽のためにも連合軍とは今後二度と相見えるべきでない、との判断を下していたが、せめていま一度、と指導を懇願する連合軍の申し出により去る6月の第二戦は已むなく企画された。その意図は、いまだ閣達に諸業で重責を担い日々奮闘する6組メンバーに対し、古い先永くない身を或いは職場で居所をなくし、或いは退役しても何がしかの光明を分け与えるべきとの配慮にあらざりしかして試合の蓋を開けてみれば、6組の打線必ずしも好調とは言えない中、連打につぐ連打で序盤でいきなり8対0という一方的な展開となり、連合軍の勝利は無理としてみても6組の応援者さえも球場から去ると言う有様となった。当初の目的から考えればその後の展開を論ずる必要のないことは言うまでもない。にも拘らず6組の温情を理解し得ぬ愚かしき連合軍は冒頭に述べた如き愚行に走った。聞けば6組のメンバーにも体調が万全でない者が幾人もいたらしい。しかしその事実には一切触れることなく、試合に参加し、体調増しを理由にベンチに下がったり、増してや、人が足りていながら教えを乞う側からメンバーを借りる等、およそ彼等の思考の範疇にはあり得ることではなかった。しかして報道された内容は

事実が大きくねじ曲げられ、都合なことには一切触れぬ内容となつて読者の手に届いた。6組の選手の中にもこの内容に激怒し、第3戦は最早や夷敵を討つに似たいわば聖戦である、と激しく首脳部を突き上げる意見を出し、これら意見は首脳部の心のうちに納められ、何事もなかったように試合は粛々として開始された。薄すら笑いさす浮かべながらマウンドに昇った主戦篠田が然るべく黙々と三振の山を築き、然るべく6組が連合軍の屍を戦いの場に積上げたのは見ての通りである。勿論既に第2戦の折にこの筋書は書かれていたのである。かりそめの悦楽に酔い、酒池肉林とも言うべき放蕩の一夜を過ごした連合軍は、あわれ弱者6組の巧妙に描いた筋書に乗り、敗るべくして敗れて去つたのである。この結果を以て連合軍が今度ほどのような表現で読者に言い逃れを試みるのか、紙上を賑わすくさんの毒罵のそれにも増して大いに興味のあるところである。

中津産業大学教授(投稿) 著書「覇者と敗者に於ける精神構造とその言い逃れに関する一般的な傾向と考察」は有名。

後藤嬉し恥ずかし 初体験



あえなく三振した後藤選手

サブマネ後藤はレフト9番で初先発した。バッティングセンターでは一番当たっていたと噂だが市川のミラクル投法にあえなく三振、初舞台を飾れなかった。

後藤選手の話
練習では140キロ以下は打ったことないもん。球が遅くて、私ももうすぐウン才だし、そうは待てないわ。



上野で酒に溺れる木鋪とおおる檜垣

木鋪戦力外通告か

篠田監督談

要は本人次第、バッティングで答えを出す以外にないだろう。

檜垣選手の話

他人のことはよく判らないが、早い話が俺がここぞという時に打ち、木鋪が打たない、という事実だけじゃないか？力の世界という話。

神原選手の話

他人のことはよく判る。俺が外野にまわつて肩の衰えた木鋪二塁がいいんじゃない。

後藤サブマネージャー談 (酔っ払って) 監督！あのサードは駄目だと思えますよ、ヒツク。

木村マネージャー談

山の中でこそそそサンマを焼いて喰うような生臭い話だ。

肩の違和感を理由に連合軍戦を欠場した木鋪三塁手の去就がにわかにはクローズアップされている。楽勝と見られていた第二戦が乱戦になつた大きな要因として木鋪の三塁の守備があるとして、チーム内からも最早や往年の力はなく大きな期待できないとして批判の声が少なくなく、加えて今回の疑惑とも言える欠場事件でチーム内での立場が非常に悪くなつたと言え、更に具合の悪いことには、これまでチーム内での批判を一身に受けて木鋪を弁護して来た篠田監督から再三の出場要請を受けながらこれに応えられなかったことにより、かねてより采配にあらたると、かねてより采配自体が疑問視され須走事件以降みずからの立場の危うい監督自身がこの先どこまで木鋪の弁護を続けられるか大いに疑問がある。一部地方紙で取りざたされた連合軍首脳部との接近は単なる噂として一笑に付されたとしても、急遽三塁を守つた中島が代役を無難にこなしただけに他のメンバーとの確執がなお深まることは免れ得まい。一時は助監督に推される立場にあつたが、篠田監督更迭に伴い一気に反主流派となり自由契約に追込まれる可能性が高い。肩の衰えから一塁に回ることも考えられるが、三塁打を含む2本のヒットを打つた檜垣が一塁で好感触を得ておりこれも難しい。年齢のこともありいまのところ大リーグからの身柄照会はなされていない。

木鋪選手の話

球団は冷たい。キャンプは自費で出るしかないな。で、連合軍はどこで合宿するって？

6組 打撃成績 (1998.10.11. 現在)

氏名	打数	安打	塁打	得点	盗塁	犠打	四球	三振	2塁	3塁	本塁	失策	打率
篠田	10	5	5	12	5	3	0	1	1	2	1	1	0.500
木鋪	6	3	6	5	1	0	0	0	0	0	1	0	0.500
木佐藤	7	3	0	4	6	2	0	4	0	0	1	0	0.428
石垣	10	4	3	9	2	0	0	2	1	1	2	0	0.400
檜垣	5	2	2	4	2	0	0	1	0	0	1	0	0.400
高水	9	2	3	5	3	0	0	2	1	1	1	0	0.222
山	9	2	2	2	2	0	1	0	1	0	0	0	0.222
神原	10	2	2	2	2	0	0	0	1	0	0	0	1.200
中島	10	1	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	2.100
横井	4	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0.000
川添	2	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0.500
木村	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0.000
後藤	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000
吉井	1	0	0	0	2	0	0	2	1	0	0	0	1.000
松浦	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0.000
チ-A	87	25	24	45	29	5	1	13	11	5	6	1	0.287

祝勝会？まさかただの飲み会よ

中国料理 又一味
お問い合わせは 3801-8520